

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-432		
評価技術名称					連絡先	http://www.				
部分開口 構造用合板補強工法					〒					
真壁「上下あき」裏栈あり					電話	Fax				
概要	技術概要					真壁で梁及び土台と面材が接合されていない構造用合板補強。 床天井間のみを構造用合板で補強する工法。				
	技術の特徴					コスト				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井・床を解体することなく補強が可能。</li> <li>壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。</li> <li>一般流通品なので取り扱いが容易。</li> </ul>					サンプル構面		13,202 円/kN		
						設計見積り例		—		
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲					写真・図				
	構法		木造在来軸組工法							
	規模		3階建て以下							
	基礎、地盤		特になし							
	適用部位		内外壁							
	その他		特になし							
	主要構成部材の仕様									
	構造用合板 厚 12mm 以上									
	釘 N50, CN50 @100 以下									
	継手受材、上下受材、四方受材(縦のみ)あり									
耐震性能										
評価仕様: 真壁仕様										
壁基準耐力		壁基準剛性								
5.2kN/m		730kN/rad./m								
A-111 からの低減係数 $\alpha = 1.0$										
壁基準耐力 $5.2 \times 1.0 = 5.2$										
設計方法										
①柱接合部による低減										
取付部分が健全であること										
②劣化による低減										
取付部分が健全であること										
施工者指定										
特になし										
その他										
					構造用合板 厚 12mm 以上 釘 N50, CN50 @100mm 以下 四周打ち 四方受材(縦) 30×40mm 以上 釘 N75 @150mm 以下 または N90 @200mm 以下 継手受材 30×90mm 以上 釘 四方受材に対し 2-N75 斜め打ち 四方受材(縦)に対し、継手受材負け 上下受材 30×90mm 以上 釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち					